

# 令和7年業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種	年	令和7年		令和6年		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2,235	11	2,157	19	78	-8	3.6%	-42.1%
1 製造業		413	1	392	6	21	-5	5.4%	-83.3%
1 食料品製造業		252		248	4	4	-4	1.6%	-100.0%
4 木材・木製品製造業		20	1	24	1	-4		-16.7%	
9 窯業土石製品製造業		14		16	1	-2	-1	-12.5%	-100.0%
11～12 金属製品製造業		21		28		-7		-25.0%	
13～15 機械器具製造業		37		36		1		2.8%	
上記以外の製造業		69		40		29		72.5%	
2 鉱業		7		3		4		133.3%	
3 建設業		312	4	316	6	-4	-2	-1.3%	-33.3%
1 土木工事業		122	3	114	5	8	-2	7.0%	-40.0%
2 建築工事業		145	1	151	1	-6		-4.0%	
3 その他の建設業		45		51		-6		-11.8%	
4 運輸交通業		219		207	1	12	-1	5.8%	-100.0%
1 鉄道・航空機業		5		2		3		150.0%	
2 道路旅客運送業		20		16		4		25.0%	
3 道路貨物運送業		193		189	1	4	-1	2.1%	-100.0%
4 その他の運輸交通業		1				1			
5 貨物取扱業		23		24	1	-1	-1	-4.2%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業		7		10		-3		-30.0%	
2 港湾運送業		16		14	1	2	-1	14.3%	-100.0%
6 農林業		114	2	103	2	11		10.7%	
1 農業		68	1	54	1	14		25.9%	
2 林業		46	1	49	1	-3		-6.1%	
7 畜産・水産業		79		120		-41		-34.2%	
8 商業		296	1	278		18	1	6.5%	
1 卸売業		39		51		-12		-23.5%	
2 小売業		228	1	205		23	1	11.2%	
3 理美容業		4		2		2		100.0%	
4 その他の商業		25		20		5		25.0%	
9 金融・広告業		21		16		5		31.3%	
11 通信業		32		21		11		52.4%	
12 教育・研究業		23		14		9		64.3%	
13 保健衛生業		417		364	1	53	-1	14.6%	-100.0%
1 医療保健業		167		144	1	23	-1	16.0%	-100.0%
2 社会福祉施設		241		212		29		13.7%	
3 その他の保健衛生業		9		8		1		12.5%	
14 接客娯楽業		117		116		1		0.9%	
1 旅館業		33		31		2		6.5%	
2 飲食店		59		64		-5		-7.8%	
3 その他の接客娯楽業		25		21		4		19.0%	
上記以外の事業		162	3	183	2	-21	1	-11.5%	50.0%
10 映画・演劇業									
15 清掃・と畜業		92	3	100		-8	3	-8.0%	
16 官公署		1				1			
17 その他の事業		69		83	2	-14	-2	-16.9%	-100.0%
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）		200		199	1	1	-1	0.5%	-100.0%
第三次産業（8～17）		1,068	4	992	3	76	1	7.7%	33.3%

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。
- ② 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ③ 下段の陸上貨物運送事業（4-3・5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。
- ④ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

# 令和7年 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別					
業種	順位	令和7年	人数	割合	順位	令和6年	人数	割合	令和7年		令和6年		増減数	
									人数	割合	人数	割合		
全産業	1	転倒	579	25.9%	1	転倒	548	25.4%	～19歳	40	1.8%	39	1.8%	1
	2	墜落・転落	408	18.3%	2	墜落・転落	405	18.8%	20歳～29歳	275	12.3%	223	10.3%	52
	3	動作の反動・無理な動作	372	16.6%	3	動作の反動・無理な動作	343	15.9%	30歳～39歳	266	11.9%	274	12.7%	-8
	4	はさまれ・巻き込まれ	206	9.2%	4	はさまれ・巻き込まれ	225	10.4%	40歳～49歳	375	16.8%	384	17.8%	-9
	5	切れ・こすれ	127	5.7%	5	切れ・こすれ	136	6.3%	50歳～59歳	497	22.2%	482	22.3%	15
									60歳～	782	35.0%	755	35.0%	27
製造業	1	転倒	102	24.7%	1	転倒	102	26.0%	～19歳	13	3.1%	6	1.5%	7
	2	はさまれ・巻き込まれ	71	17.2%	2	はさまれ・巻き込まれ	76	19.4%	20歳～29歳	57	13.8%	36	9.2%	21
	3	墜落・転落	52	12.6%	3	墜落・転落	62	15.8%	30歳～39歳	56	13.6%	61	15.6%	-5
	4	動作の反動・無理な動作	48	11.6%	4	動作の反動・無理な動作	51	13.0%	40歳～49歳	72	17.4%	67	17.1%	5
	5	切れ・こすれ	41	9.9%	5	切れ・こすれ	39	9.9%	50歳～59歳	90	21.8%	80	20.4%	10
									60歳～	125	30.3%	142	36.2%	-17
建設業	1	墜落・転落	114	36.5%	1	墜落・転落	119	37.7%	～19歳	6	1.9%	9	2.8%	-3
	2	転倒	40	12.8%	2	はさまれ・巻き込まれ	34	10.8%	20歳～29歳	57	18.3%	48	15.2%	9
	3	はさまれ・巻き込まれ	31	9.9%	3	転倒	33	10.4%	30歳～39歳	43	13.8%	40	12.7%	3
	4	切れ・こすれ	25	8.0%	4	飛来・落下	31	9.8%	40歳～49歳	56	17.9%	50	15.8%	6
	5	交通事故（道路）	22	7.1%	5	切れ・こすれ	29	9.2%	50歳～59歳	43	13.8%	52	16.5%	-9
									60歳～	107	34.3%	117	37.0%	-10
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	60	30.0%	1	墜落・転落	57	28.6%	～19歳			5	2.5%	-5
	2	動作の反動・無理な動作	30	15.0%	2	動作の反動・無理な動作	39	19.6%	20歳～29歳	19	9.5%	14	7.0%	5
	3	転倒	28	14.0%	3	転倒	28	14.1%	30歳～39歳	26	13.0%	22	11.1%	4
	4	はさまれ・巻き込まれ	24	12.0%	4	はさまれ・巻き込まれ	22	11.1%	40歳～49歳	46	23.0%	55	27.6%	-9
	5	激突され	18	9.0%	5	激突され	14	7.0%	50歳～59歳	49	24.5%	58	29.1%	-9
									60歳～	60	30.0%	45	22.6%	15
林業	1	飛来・落下	9	19.6%	1	切れ・こすれ	12	24.5%	～19歳	1	2.2%			1
	2	激突され	9	19.6%	2	激突され	11	22.4%	20歳～29歳	7	15.2%	8	16.3%	-1
	3	切れ・こすれ	9	19.6%	3	墜落・転落	5	10.2%	30歳～39歳	11	23.9%	8	16.3%	3
	4	はさまれ・巻き込まれ	6	13.0%	4	転倒	5	10.2%	40歳～49歳	10	21.7%	14	28.6%	-4
	5	墜落・転落	5	10.9%	5	飛来・落下	5	10.2%	50歳～59歳	9	19.6%	11	22.4%	-2
									60歳～	8	17.4%	8	16.3%	
第三次 産業	1	転倒	382	35.8%	1	転倒	348	35.1%	～19歳	16	1.5%	17	1.7%	-1
	2	動作の反動・無理な動作	252	23.6%	2	動作の反動・無理な動作	213	21.5%	20歳～29歳	102	9.6%	86	8.7%	16
	3	墜落・転落	141	13.2%	3	墜落・転落	123	12.4%	30歳～39歳	93	8.7%	119	12.0%	-26
	4	交通事故（道路）	58	5.4%	4	交通事故（道路）	63	6.4%	40歳～49歳	166	15.5%	157	15.8%	9
	5	はさまれ・巻き込まれ	40	3.7%	5	はさまれ・巻き込まれ	47	4.7%	50歳～59歳	271	25.4%	230	23.2%	41
									60歳～	421	39.4%	383	38.6%	38
小売 業	1	転倒	92	40.4%	1	転倒	84	41.0%	～19歳			8	3.9%	-8
	2	動作の反動・無理な動作	34	14.9%	2	動作の反動・無理な動作	31	15.1%	20歳～29歳	26	11.4%	17	8.3%	9
	3	墜落・転落	33	14.5%	3	墜落・転落	26	12.7%	30歳～39歳	19	8.3%	21	10.2%	-2
	4	交通事故（道路）	15	6.6%	4	交通事故（道路）	18	8.8%	40歳～49歳	33	14.5%	29	14.1%	4
	5	はさまれ・巻き込まれ	11	4.8%	5	激突	11	5.4%	50歳～59歳	57	25.0%	44	21.5%	13
									60歳～	93	40.8%	86	42.0%	7
社会 福祉 施設	1	転倒	93	38.6%	1	転倒	80	37.7%	～19歳	1	0.4%			1
	2	動作の反動・無理な動作	80	33.2%	2	動作の反動・無理な動作	73	34.4%	20歳～29歳	16	6.6%	13	6.1%	3
	3	墜落・転落	21	8.7%	3	墜落・転落	12	5.7%	30歳～39歳	12	5.0%	26	12.3%	-14
	4	激突され	10	4.1%	4	激突され	9	4.2%	40歳～49歳	33	13.7%	40	18.9%	-7
	5	その他	10	4.1%	5	激突	8	3.8%	50歳～59歳	69	28.6%	48	22.6%	21
									60歳～	110	45.6%	85	40.1%	25
飲食 店	1	転倒	22	37.3%	1	転倒	26	40.6%	～19歳	9	15.3%	5	7.8%	4
	2	高温・低温の物との接触	11	18.6%	2	切れ・こすれ	10	15.6%	20歳～29歳	9	15.3%	9	14.1%	
	3	切れ・こすれ	9	15.3%	3	高温・低温の物との接触	8	12.5%	30歳～39歳	5	8.5%	14	21.9%	-9
	4	墜落・転落	5	8.5%	4	動作の反動・無理な動作	6	9.4%	40歳～49歳	3	5.1%	4	6.3%	-1
	5	動作の反動・無理な動作	5	8.5%	5	墜落・転落	5	7.8%	50歳～59歳	18	30.5%	13	20.3%	5
									60歳～	15	25.4%	19	29.7%	-4

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和7年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和7年 2 月	木材・木製品製造業	作業員	男	73	2年	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	雑木の剪定で発生した枝を運搬するため、スリングベルトで束ねた枝を代表者が操作するフォークリフトで吊り上げた後、被災者は枝が揺れないよう手で支えながらフォークリフトとともに町道を移動していたところ道路上に転倒し、前進してきたフォークリフトに右脚をひかれ、その後死亡した。
2	令和7年 2 月	農業	作業員	女	20	3ヶ月	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	サトウキビ畑横の町道付近にて、事業主が前日に刈り取ったサトウキビの積込作業を行うためトラッククレーンのアウトリガーを張り出そうとしていたところ、当該クレーンが前進を始め、補助作業のため近くを通行していた被災者がトラッククレーンのアウトリガーと電柱との間に挟まれたもの。
3	令和7年 4 月	木材伐出業	作業員	男	54	20年	激突され	立木	皆伐作業において、被災者がチェーンソーでヒノキの伐採作業(1人作業)を行っていたところ、当該ヒノキとつるで絡まった別のヒノキが、伐倒したヒノキとともに倒れ、被災者に激突したものの。
4	令和7年 4 月	建築工事業	作業員	男	74	10年	墜落・転落	建築物、構築物	建築物解体工事中、室外機の固定ワイヤー切断の為に建物外周を移動していたところ、被災者は意識が朦朧として隣接する側溝に転落、頭部を負傷し外傷性くも膜下出血と診断され入院。その後入院加療していたところ、令和7年11月18日に死亡したものの。
5	令和7年 7 月	燃料小売業	運転者	男	57	2年	墜落・転落	トラック	エンジンオイルが入ったドラム缶をトラック(最大積載荷重1500kg、テールゲートリフター付き)に積み込む作業を行っていたところ、被災者から同僚に「荷台から落ちて手首を折った。」との連絡があり倉庫に向かったところ、被災者がトラックの助手席で意識朦朧の状態ですずくまっており、救急搬送されたが、9日後に死亡したものの。
6	令和7年 7 月	産業廃棄物処理業	運転者	男	52	7か月	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	被災者は出張作業においてスキッドステアローダーを運転し、養鶏場の鶏糞等の清掃作業に従事していたが、同僚が養鶏場内に入ったところ、スキッドステアローダー車体及びブームの枠に挟まれている被災者を発見したものの。
7	令和7年 8 月	土木工事業	作業員	男	45	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	砂防ダム新設工事において基礎石(直径60cm、重さ200kg)を法面上部に設置するため、ドラグショベル2台を用いてリレー形式で基礎石を移動させていたが、バケットから地面に降ろした基礎石のひとつが落下しそうになったため避けようと旋回したところ、付近で整地作業を行っていた被災者がドラグショベルのバケットと砂防ダム壁面の間にはさまれたものの。
8	令和7年 8 月	産業廃棄物処理業	作業員	男	76	5年	はさまれ・巻き込まれ	トラック	事業場敷地内において、被災者は単独で、ゴミ収集車(プレス式塵芥収集車)に段ボールを投入する作業を行っていたところ、近くにいた同僚労働者が、ゴミ収集車のプレスプレートに上半身を挟まれた状態の被災者を発見したものの。
9	令和7年 10 月	土木工事業	運転者	男	74	55年	墜落・転落	掘削用機械	令和7年8月の豪雨災害による災害復旧工事現場内において、被災者がドラグ・ショベルを運転して陥没穴の埋戻し作業を行っていたところ、当該陥没穴内にドラグ・ショベルごと墜落し、被災したものの。
10	令和7年 11 月	産業廃棄物処理業	作業員	男	66	0年	墜落・転落	作業床	被災者は、破袋機前方に仮設された作業床上で、ペットボトルのペールを固定しているPPバンドを外し、破袋機の投入口にペットボトルを投入する作業に従事していたところ、作業床から破袋機の投入口に墜落し、回転刃に巻き込まれたものの。
11	令和7年 12 月	土木工事業	技術者	男	71	30年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	現場代理人と被災者で測量業務を行っていた。現場代理人が測量結果を記録していたところ悲鳴が聞こえたため、その方向を見ると被災者が接近するドラグショベルのキャタピラの前で倒れており、直ちにドラグショベルを停止させた。被災者が右足と腰部の痛みを訴えたため病院へ搬送したが、3日後に死亡したものの。